

# 西濃事務研究会報

平成24年 7月17日

平成24年 6月11日、西濃総合庁舎にて研修会を行いました。

研修 講話「学校事務職員に求められるもの」 西濃教育事務所 所長 和田 満 様



北村西望（長崎平和祈念像の制作者）の句

「たゆまざる 歩み恐ろし かたつむり」

こつこつと粘り強く取り組むことが大切であるという意味で、事務職員研究会も粘り強くなおかつ主体的に取り組んでみえ、一つの成果を残そうとしている。

不易と流行

平成8年7月19日（1996年）文部省より出された「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について（第1次答申）」で初めて使われた言葉であり、元は松尾芭蕉の蕉風俳句の内容について去来という人が書いた文章から引用したといわれている。

不易とは「時代を超えて変わらない価値のあるもの」で、流行とは「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」であり、学校に求められているものは「不易」の部分である。

「學」という字には、部品ごとに大切な意味がある。

- ・上段真ん中の「××」は教えるものと教えられるものの心と心の交流を表し、その左右の部品には、手から手に大切なものを渡すと言う意味がある。併せて、教えるものと教えられるものとの心と心の交流がなければ大切なものを渡すことはできないという意味になる。
- ・ワ冠のような部品は、実はワ冠ではなく、屋根と柱を表している。学ぶにふさわしい建物、部屋があるかということで、学校に求められていることである。皆さんが日頃から心がけている、学ぶにふさわしい環境であるか、安心・安全な環境であるかということになる。よく落ち着きのないといわれる児童、発達障害などの疑いがある児童は、見にくいものが貼ってある、色とりどりの掲示があるなど、教室の環境によっては落ち着きをなくすことがある。学級の目標につかう色はインクの色が良いと言われている。色覚に異常のある児童は必ず一定の割合でいる。新しく先生になった方はそういうことを知らないこともある。大事なことを赤で書く先生はいないか、緑色のチョークを欲しがるといって先生はいないか、緑色の黒板に何を書こうかというのか、そういった部分は子どもの育ちを支える上で必要な要件であり、事務職員によって網をかけることもできる。
- ・子という文字が一つだけ書いてある意味は、一人を大切にしよう、大切にしているかという問いを表している。

「學」は甲骨文字の頃（4000年前）からあり、その時から現在まで大切にするとところは変わっていない。それは大切にすべきことが今までも、現在も、そしてこれからも変わらないものといえる。

「義校」と名の付くところは全て地域の寄付で建てられた学校である。地域の方々の期待、願いが込められているのが学校である。しかし、富める地域は学校も先生も良くなるが、貧しい地域は学校も先生も集められない。そのために義務教育国庫負担制度が必要となる。義務教育の根幹となる、機会均等、教育水準の確保、無償性が保障されていなければならない。一人一人の人格形成、国家社会のため、これからは大切にされることである。国のお金を使う以上、教科書など一つ一つの事務が大切にされていなければならない。しかし地域の願いも大切にすることが必要である。すなわち学校は国・地域の付託に応えなければならない。

## 1. 学校にいる教職員として期待されること

- ・子どものためにいる職員

幼児にとっては遊び場所、物、人も、環境全てが教育にとって重要である。事務職員も大切な教育資源である。教育相談、生徒指導、キャリア教育に意識する・しないに関わらず影響を与えている。学

校は先生だけではなく、違う仕事をする職員も含めて学校なのである。そういう意味でも事務職員は大切な教材である。職員室にくる児童生徒への「やり直し」などの声かけ、掃除の仕方を教えるなど、一人一人の子どもに声をかけてくださっている。そうした心の交流があって、子どもが健やかに育っている。

- ・校長にとって大切な「スタッフ」の一員

様々な意見を聞きたい校長にとって、経営ビジョンを理解し、現職研修、資質向上委員会など、意見を問われたときに、もっと効率的な方法、アイデアを教えてくださいと役目を担ってくださっている。

- ・開かれた学校

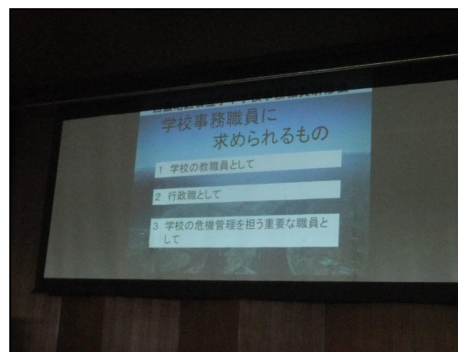
電話対応など、学校のトップページとして大切な役割である。校長、教頭と同じくトップページの大切な一枚である。

## 2. 学校にいる行政職として期待されること

教育職は「子どものために」が最優先となり、公私の別なく働き、時間、費用、効率が後回しになってしまうことが多い。学校にいる唯一の行政職として費用対効果を考えて動くことが大切である。無理、無駄、ムラ（不公平）をなくす、例えよいことでも予算の背景がないものは駄目と教えていく。学校は2つの見方、立場があるからこそバランスがとれて良くなっていく。

## 3. 学校の危機管理を担う重要な職員として期待されること

他校の事案を本校に置き換えて考えていくことが大切である。危機管理には4ステップある。リスクマネジメント、クライシスマネジメント（ダメージコントロール）である。リスクマネジメントは情報の共有と、収集が大切である。よくない情報を聞いたら「念のため、お伝えします」と管理職へ伝えることが大切になる。校長でも責任がとれなくなることもある。これから若い先生が増えていくため、早めに対処することが大切であることを伝えていただきたい。ダメージコントロールとは実際に起こってしまったら何が必要なのか。3S「正確な事実把握、スピード（迅速に）、誠実誠意ある対応」の徹底が大切になる。絶対やらなくてはならないのは被害者の救済である。5W2H、もう一つのHは「How much（いくら）」である。このあたりの情報をつかんでおかないと、いざというときに対応ができない。



東日本大震災、震災後に事務職員は何をしなければならなかったか。児童の安否確認以外は全て行っていた。直後には、避難者の確認のための名簿作成、仮設トイレの設置のための穴掘り、詳細な動向表を用いての、教職員の勤務態勢の把握、最低限の人事異動に関わる書類の作成（兼務をにかけていた）などを行っていた。震災に伴って、全世界からの支援物資の管理、量として教室の床から天井までを4教室分あり、どこからどれだけというリストを作成しておけば良かったが作成している時間がなかった。それ以外にボランティアへの対応（来客、電話）、就学援助費関係事務（震災前の数倍）、特殊勤務手当の申請、住居手当等の変更、引っ越し作業、備品管理などを行っていた。

得られた教訓、検討課題は、日頃から報告、連絡、相談ができていないか、倉庫、教材室などの整理整頓ができていないかなどが大切になっている。学校備品等の保管場所をよく知っている職員が大勢いることが大切であり、非常事態にスムーズな対応ができるようになる。備品整理の時など、教科担当だけではなく複数でやるなどするとよい。

美しいふるさとで生きるには、生きるためにはそれぞれに作法がある。宮城県では津波から身を守るための作法、岐阜県では、特に西濃で言えば水から身を守る作法や、がけ崩れから身を守る作法が必要となってくる。しかし危険ばかりを言うと、ふるさとが嫌いになってしまう。とてもすてきなふるさとだから生きるための知恵を子どもたちに教えていただきたい。これからも子ども達に志と感動を育む教育を進めていきたいと思っている。事務職員の皆さんもそれぞれの学校で力を発揮していただき、子ども達のために先生方と力を合わせて良い学校、良い教育を進めていただきたい。



事務の先生方に、教員に成ったばかりの頃、結婚の時など、色々な場面で助けていただいて現在があると思います。今回は学校を経由していただく書類について4点連絡をさせていただきます。

#### 1.産休、育休、病気休暇について

提出日段階の満年齢で提出していただいておりましたが、今年度以降は職員調書と同じく年度末年齢で提出をお願いします。

#### 2.非常勤講師実績簿について

教科名を記入してください。校長先生の印鑑漏れも多いため確認をお願いします。授業その他の時数カウントのチェックを今後もお願いします。また土日に授業を実施された場合は、勤務の割り振りの書類を提出してください。

#### 3.病気休暇の承認申請書について

学校で取得された方の申請書の写しを、毎月末、市町教委を経由して事務所まで提出をお願いします。

#### 4.給与減額通知について

介護休暇、育児部分休業を取っている方については提出する必要があります。現在、西濃管内では0ですが、今後事例がありましたらお願いします。

#### 1.諸手当の届出について

基本的には人事給与システムで代理入力した際に出力される添付資料の一覧をよく見て、必要とされる証明書類はそろっているか、代理入力に誤りがないかを確認し、提出してください。

#### 2.扶養親族届について

「扶養親族届」には今後見込まれる恒常的な年収額を入力することになっていますが、画面上に添付されている「同一家族の届」の方には、前年の年収額を入力するようになっているため、前年の所得証明書を見て、入力してください。1月から5月までは前年の所得証明は発行できないため、前年の源泉徴収票の金額を入れてください。

#### 3.住居届について

契約書に共益費・駐車場代が家賃込みと記載してある場合は、貸し主の証明により金額を明らかにしてください。住居手当の認定を受けていた職員が転居した場合、届出の理由について3番「転居」を選択していただき、1本で届出を起こしていただきますようお願いいたします。その際の添付資料は、新規契約書の写し、4月分の家賃領収書の写しと、旧借家の退去証明、または3月分の家賃を払っていたことわかるものを提出していただきますようお願いいたします。

また、最初の1か月分の家賃が無料というケースがあります。例えば、4月1日に入居して4月分の家賃が無料の場合、住居手当の支給要件を満たすのは5月1日からとなります。家賃無料については契約書の特記事項に小さく記載されている場合や、契約書に記載はなく、領収書で無料がわかることもありますのでご注意ください。

#### 4.通勤届について

5月28日にメールでお知らせしたとおり、MapFanでの計測が「推奨」から「距離優先」に変更されました。必ず「推奨」ではなく「距離優先」のルート調べてください。

産休、病休、休職、介護休暇に入ったため通勤を打ち切る場合、反対に、育休や、病休、休職から復帰した場合についてですが、通勤届のほかに出勤簿の写しも添付してください。

また、兼務のある職員の通勤届は人事給与システムの入力画面が通常と異なります。通常使用している「通勤届（自動車のみ利用、支給打ち切り）」の1つ下の「通勤届（電車等利用、併用、複数の通勤経路等）」から入力してください。

通勤届については、5月給与に反映させるため、スピード重視で処理しました。細かい部分を現在確認しているところですので、修正等願います。よろしくお願いいたします。

#### 5. 過年度戻入について

昨年度は扶養手当、住居手当、通勤手当について戻入がありました。どの手当も職員の届出があって初めて打ち切ることができますので、状況に異動があればすぐに届出するよう職員に周知してください。

#### 6. 臨時的任用職員、職員番号9万番台の職員の社会保険について

4月1日2日採用者の社会保険証の発行が、4月末となりご不便をおかけして申し訳ありませんでした。社会保険の資格取得手続きについては優先して行っておりますが、4月は他の事業所の届出件数も多く、申請から発行までに通常より時間もかかるため、ご理解をお願いします。

スムーズな処理のために提出前の確認と、届の余白に学校名とコードの記入をお願いします。

資格取得届では、資格取得年月日の記入誤りや、住所の記入もれが多くありました。また、報酬月額については、算出根拠のわかるものを添付してください。報酬月額は給料月額だけではなく、諸手当を含めた給料となります。こちらではチェックできないものもありますので、十分に確認をお願いします。

被扶養者届については、お子さんのみを扶養者とするときは、配偶者がいない場合は備考欄にその旨を記入してください。被扶養者でない配偶者がいる場合は、配偶者および被保険者の年収欄を記入してください。

その他の被扶養者欄についてですが、同居・別居の欄には該当するものに をつけ、別居の場合は備考欄に仕送りの額を記入してください。また、被扶養者が16歳以上の学生の場合は学校の種類・学年まで記入してください。

年金収入がある場合は受給額が分かるもの（振り込み通知書の写し等）を、年収が103万円を超える場合は、直近3ヶ月の給与支払い証明を添付してください。

#### 研修 研修計画について 研究推進委員長 川並小学校 澤藤かよ子

西濃地区小中学校事務職員研修会は、平成21年度まで、年2回の研修会を開催し、各都市の研究発表、講演会、研修報告などを中心とした研修を行ってきました。

しかし、研修のあり方として「研修計画がない」、各都市の研究発表や講演会の内容については、それぞれの都市が企画・運営していたため、研修内容が単発的になりがちで「継続性がない」などの課題がありました。また、社会情勢の変化や教育に対する考え方、法制度に対応していきたいとの会員の要望に応えられる研修を都市任せで行うことも困難でした。

このような課題を改善するため、他（た）の先進的な地区での研修のあり方等を参考に、西濃の会員が求めるもの、学校の教育活動の中で必要とされる学校事務を行うため、平成20年度に会員全員を対象にアンケートを実施しました。

アンケートから分かった、西濃の現状と会員の要望、学校を取り巻く様々な状況の変化から、学校事務職員に求められる資質能力には大きく、「実務力」「対応力」「人間力」の3つの力があると考えました。

そして研修を通して、この3つの力を高めていくことが「事務職員としての資質向上」となり、研究テーマである「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」につながると考え、資料のような長期研修計画構想図を作成し、平成22年度より「長期研修計画」に基づいて研修を行っております。

では、先程でました3つの力についてお話をさせていただきます。

実務力：「学校事務に関する全般的な知識技能」「専門的な法規知識への精通」「適正かつ合理的な事務処理能力」

対応力：「学校を取り巻く様々な変化に創造的かつ柔軟で適正な対応ができる力」

人間力：「豊かな人間性」「社会人としての一般教養」「地方公務員としての基本的知識」「学校全体を視野に入れ、組織の一員としての職務への高い意識を持つこと」

この3つの力を高めていく研修を、西濃研究推進委員会では順次計画し、22年度から24年度は‘対応力’に重点を置いた研修として、主に「財務マネジメント」について行っています。

内容として22年度は、財務マネジメントについて、全事研副会長さまの講演と、学校財務について自校の課題と改善、課題解決についてグループ討議を行い、各自課題解決に向けての決意表明をしていただきました。

23年度は対応力の観点で、宇留生小学校・河合教頭先生の講演と、西濃研究推進委員による財務マネジメントの具体的方策についての実践発表、また22年度の研修を受けて取り入れたことや、グループ討議で各自が決意表明したことの実践について、グループでの交流を行いました。

24年度は‘対応力’について3ヶ年計画の最終年度となります。

西濃の会員も、今後5年間でおおよそ約25%の方が定年退職を迎えます。10年間では約39%です。先輩たちの知恵や学校事務への熱い思いが伝承されずに消えてしまうことは大変もったいないことです。

そこで、今年度も会員をいくつかのグループに分けさせていただき、「交流型研修」を行いたいと考えています。グループ編成は‘助言者・支援者’の立場となりえる方と、‘支援・助言を受ける立場’の方の人数割合を考慮し、財務を基本テーマとした交流を行っていただこうと計画しています。

このような形式での交流型研修は、若手の育成や悩みの解決だけではなく、経験豊かな方々の自信や意欲の高まりにつながると考えています。細かな部分については、今後、研推で話し合い、各都市の研推を通じて会員に連絡させていただきます。

また、「長期研修計画」に基づいた研修と同時に事務部経営案の作成についての啓発も行っております。

事務部経営案は、平成19年度の全国発表で「生き生き学校事務構想の取り組み」のひとつとして、西濃全体で取り組み・実践を行ってきたものです。この意識を途切れさせないため、また一度も事務部経営案を作成したことのない方への紹介を兼ねて、各都市の方にご自分が作成された経営案の紹介をいただいています。

22年度は養老郡・揖斐郡の方に、23年度は不破郡・安八郡の方に紹介していただきました。24年度は海津市・大垣市の方を予定しております。よりよい研修となるよう、ご協力をよろしくお願い致します。

## 諸連絡

### 総会

会長挨拶 揖斐川町立谷汲小学校 石原明美

本日の総会開催にあたりまして、ご来賓の皆様には、ご多忙中にもかかわらず、ご臨席いただきましてありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

さて、今後10年間、昭和50年代採用期の教職員が、大量退職していきます。私もその仲間ですが、小規模校への事務職員の未配置が多く、旅費や給与事務は先生方がやってみえた時代です。小規模校には、事務職員か養護教諭、どちらかの配置しかない時代でもありました。その頃は、給料も全職員現金手渡し、ボーナス時には、恐ろしい程の現金を給料袋に入れていました。パソコンも無く、書類はすべて手書きでした。養護教諭が未配置だったため、子どもの健康観察、健康診断票の記入、保健委員会の発表、予防接種の準備等・・・毎日、事務と養教の仕事を、何の抵抗もなく、あたりまえのようにやっていました。しかし、その頃から、事務職員配置の必要性が大きく認められ、県費または町費で、ほとんどの学校に、配置されるようになり、現在に至ったわけですが・・・今年度、西濃地区で2名の事務職員が削減されました。

坂内小中学校と、分校を抱えて複数配置だった大野中学校が、1名削減されました。坂内小中学校は、地域の方が週に2日、学校へいらっしゃるそうですが、小規模校といえども、教員への負担がかなりあるようです。大野中学校は、分校を抱え、とても1人ではやりきれないほどの事務量です。

私の勤務する学校では、校長も教頭も行政経験者であり、事務職員の仕事の大変さを、とてもよく理解してもらっています。先生の代わりはできても、事務の先生の代わりはできないから・・・とよく言

われます。今年度の削減ということにショックを感じます。

こんな中、すでに各地で行われている共同実施について、今一度真剣に考える必要があると思います。また、大量退職に伴う初任者、または、臨時採用者の増加、世代交代を考えたとき、自分たちの研修と併せて、若い世代の育成も必要になってきます。

今までに増して、事務職員の資質向上と意識改革が必要であると考えます。

私は、自己啓発面談の時に必ず校長、教頭に言うことがあります。学校は、子どもがいるから学校である。事務職員だからと自分の仕事に一線を引きたくない。子どもたちのためになることだったら、事務職員にできることは何でもしたい。子どもたちの豊かな育ちに結びついていくことを常に意識して、職務の遂行をしていくことが大切であると考えます。

今後の研修に期待をします。2年間にわたり、会長として活動させていただいたこと、会員の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

来賓ご挨拶 西濃小中学校校長会 会長 栗田 京 様

校長として思うこと

1. 旅費の請求について事務職員には迷惑をかけていると認識している。  
教職員課との懇談において事務所間で差があるのはおかしいと話してある。
2. 校長は思いこみで話をすることがあるので、法律に詳しい事務職員から具申してほしい。
3. 教員の年齢層のグラフもワイングラスからカクテルグラスに変化しているため、若い教諭、講師がたくさん入ってきている。教員は、お金に関して危機感がない。お金の怖さを知らないので、教えてやってほしい。最近の保護者は、小さなこともすどく指摘してくるので、説明できる学年会計ができるよう助けてほしい。

「学校を支えているのは自分」という気概を持っていただきたい。

新会長挨拶 大垣市立西中学校 中川恵子



私たちは、ほとんどが1人職です。同じ職場で先輩を見ながら仕事を覚えていくという訳にはいきません。自分たちで作成した手引きを見たり、教育事務所の担当者や他校の事務職員に尋ねながら仕事を覚えていきます。そのため、ゴールが同じでも仕事の手順は、自分の経験や前任者のやり方などを取り入れたりして、やりやすい方法で行っているのではないのでしょうか。

文書が届いても勤務校に該当がなければ、やり過ごしてしまうことがあるかもしれません。旅費請求で新幹線利用の駅が変わったことも、指摘を受けた人が黙っていれば、他の人が同じ事を繰り返すことになります。

私は、学校事務職員の仕事はと聞かれたら、実際にしていること「給料や諸手当、会計、文書事務など」と答えます。わかりやすいし、経験に関係なく全員が携わっているからです。事務職員に求められるものが増えてきました。毎日の仕事はできて当たり前でなくてはなりません。研修会の事務所指導で、以前に聞いた内容の話を聞くことがあります。指導を受けた内容について、事務研で情報交換し、これからの仕事にいかせればと思います。

議事

議案書どおり全て承認

連絡

研修指導委員会

- ・初任者、経験4年以内、管外からの異動者に対しての研修について夏期休業中に実施予定
- ・教育事務所への質問事項については各郡市の研修指導委員がとりまとめをする
- ・西濃事務手引きの更新（分担は昨年度と同じ）

- ・秋の研修会における実務研修
- ・ジムネットの質問や相談の窓口
- ・初任者指導の手引きの見直し

#### 情報担当委員会

- ・西濃ジムネット（25.1.1リニューアル予定）  
データベース化 不必要なコンテンツの削除 スマートフォンへの対応
- ・夏季パソコン研について  
8月上旬 内容未定・・・内容についてインターネット上でアンケート実施予定  
アンケートについて近日中にメールでアドレスを送付 100%の回答回収

#### 県事研理事

- ・県内では岐阜地区の学校間連携を始め、半数の学校で共同実施の取り組みを開始。県内統一して同一歩調で進めるため新しいモデルプランの作成の必要性。御嵩町での実践、他県の実践を参考に岐阜県版の共同実施を進めていく予定。
- ・事務の日セミナー 10/5（金） 共同実施を中心とした内容を予定
- ・ご意見を県事研HPまでお願いします

#### 県総務部

- ・広報活動 年1回の会誌 年8会のおんさい発行 ホームページ上の情報提供
  - ・教育表簿の要望調査 6/13日まで
  - ・事務日誌の編集・発行 8月末まで
  - ・会誌の表紙の作品の募集
- 改善等の意見をホームへ書き込むか  
江並中へメールで知らせてほしい。

#### 県研究部

- ・県事研評価を10月下旬に実施予定。メールで案内しますのでご協力をお願いします。
- ・課題別マニュアルの活用をお願いします。県事研HPからダウンロードできます。

#### 県研修部

- ・スキルアップ研修の企画運営と、研修項目一覧表に沿った研修の啓発を行います。スキルアップ研修について西濃地区からの多数の申し込みをいただきありがとうございました。

#### 秋の研修会について

- ・11月28日(水) 海津公民館「文化センター」 海津市高須585-1
- ・和田所長：開会式（あいさつ）参加 林田課長補佐：終日参加
- ・内容  
不破郡発表 地域の特色を生かした研究・実践  
研究推進委員会 財務に関する講演・・・講師未定  
事務部経営案発表2名（大垣・海津）  
交流型研修  
研修指導委員会 実務指導  
県事務研より  
全事研より

開催案内については後日、教育事務所長名で配信されます。